

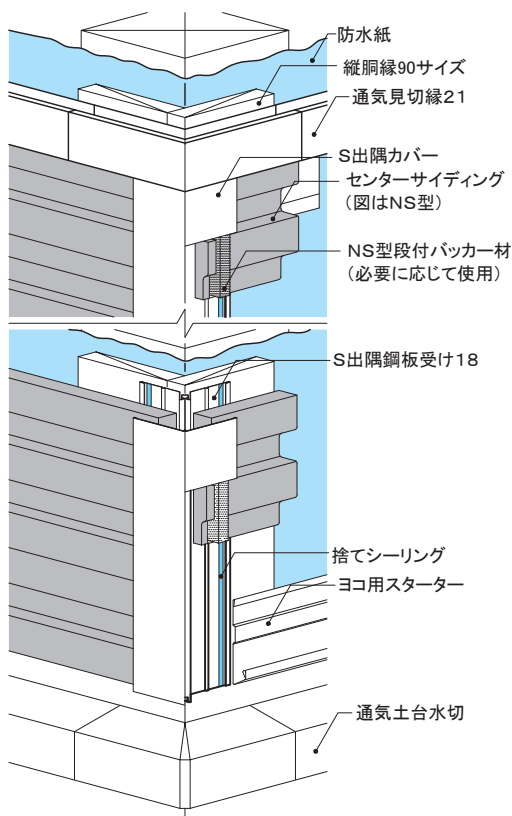
2 各部の基本納まり図

2-5 出隅部

1) 基本納まり

- 横張り施工、縦張り施工ともに出隅受け材と出隅カバー仕様が標準です。
- 躯体に胴縁が留め付けられない場合は、追加下地を入れます。
- 出隅部の縦胴縁90サイズは、追い回しで施工します。
- S出隅鋼板受け18は、木造の場合は専用釘(φ2.3mm×38mm)で、鉄骨造の場合は専用ビス(P35)で、1m以下の間隔で胴縁に留め付けます。
- S出隅鋼板受け18の上下端部は継ぎ手加工していますので、差し込んで継ぎます。
- 出隅カバーは出隅受け材に一度差し込むと外れないので、事前に位置合わせを行ってから取り付けます。出隅カバーや段出隅の浮き上がり防止のため、十分に押さえて固定します。

①横張りの場合

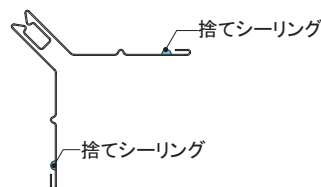


- 型によって使用する部材が異なります。

型	出隅受け材	出隅カバー
M型、NS型、ST型、 シリーズ、F型、FB型、 FN型、D型	S出隅鋼板受け18	S出隅カバー
シリーズ、 FB型設定品	S出隅鋼板受け18	段出隅

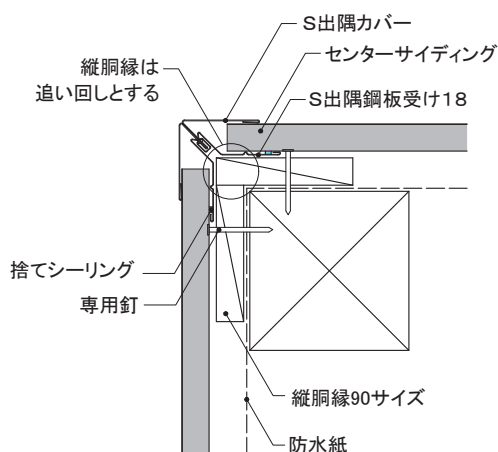
- 受け材は図の位置に捨てシーリングを施工します。

<S出隅鋼板受け18>



- 土台部での出隅受け材とヨコ用スターターの取り合いは、出隅受け材勝ちで施工します。
- 軒天部での出隅カバーは、通気見切縁に差し込むか突き付けで施工します。

<S出隅鋼板受け18+S出隅カバー>



<シリーズ他:S出隅鋼板受け18+段出隅>

